



学校・園
だより

おおひらやま
こ
大平山っ子



別府市立大平山小学校・幼稚園
児童数 270 名・園児数 16 名
令和 8 年 2 月 18 日発行
文責：
校長・園長
安部 恵



幼稚園 お楽しみ会

令和7年度で閉園となる大平山幼稚園。最後の
お楽しみ会が、2月5日(木)の午前中に行われました。



「幼稚園で楽しかったこと」「できるようになったこと」
「かっこいいところ」をおうちの方に見せたいという思い
から、発表内容や道具などの準備をしていきました。



お楽しみ会を通して、友だちと力を合わせる事の楽し
さや、最後までやり遂げる事の達成感や充実感を感じ
られたようです。小学校入学まであと2か月。心も態度
も準備万端のようです。

6年 木工教室・親子レク

1月29日
(木)別府市
農林水産課が
森林の大切さ
と木のよさを
理解してもらう
ために企画し
ていただいた



「木工教室」が行われました。本棚を作るための材料は

すべて準備していただき、あとは、組み立てていくのみの
状態でした。2人1組で木をおさえたり、金づちで止めて
いったりしながら作り上げることができました。楽しみな
がら、木のぬくもりを感じるよい機会になりました。今後
は、本棚に絵をかいたり、ニスを塗ったりしながら卒業
制作として仕上げていきます。

1月30日(金)には、親子レクが行われました。6年
生の卒業プロジェクトの一つとして、保護者への感謝と
成長を伝えようということで、「反対ジェスチャー」「けい
ドロ 三つ巴戦」「じゃんけん列車」をしました。教室の中
では見られない子どもたちの表情が見られた時間とな
りました。

1年 たし算・ひき算マスター

2月12日
(木)に、1年
生の算数の
学習の仕上
げとしてたし
算・ひき算マ
スターに挑
戦しました。



地域の方に来ていただき、目標の1分30秒または2
分30秒以内をめざし、練習の成果を聞いてもらいま
した。地域の先生が7・8名来てくださったので、子ども
たちは何回も挑戦でき、目標を達成した子もいたよう
でした。3月上旬にもう一度来ていただき、それまでに練習
を重ねて成長した姿を見ていただきたいと思います。

大平山タイム (6年生への寄せ書き)

3月5日の
「6年生を送る
会」に向けて、
5年生が縦割
り班の先頭に
立って下級生



に指示を出しながら寄せ書きづくりを行いました。最高学年になる心の準備ができているようで、堂々とはっきりと司会進行を行っていました。事前に準備していたメッセージカードを配布したり、6年生の顔写真を提示したり、書く内容を一緒に考えてあげたりしていました。

5年生は、すでに6年生から委員会活動のバトンを渡されています。6年生がみんなて協力しながら築いてきた明るい挨拶や静かに廊下を歩く態度、集会で話を聴く態度、下級生を思いやる心などたくさんの良い伝統を受け継いでくれることと思います。

別府市学力調査結果

1月15日(木)に3年生以上が別府市学力調査を行った結果が戻ってきました。

3年生は、国語と理科が全国平均を上回りましたが、算数は同等でした。4年生は、算数が上回りましたが、国語と理科は同等でした。5年生は、算数と理科が上回りましたが、国語は同等でした。6年生は、国語と算数と理科が上回りました。個人票は問題用紙と一緒に3月中旬に配布します。学校でも定着の低かった問題のやり直しをさせたいと思いますので、ご家庭でもお子さんの結果を参考にされて春休み中に弱点補強をお願いいたします。

受援力（人に頼る・助けを求める力）

子どもは成長するにつれて、様々な出来事に出会います。なかには自分1人では出来ないこと、わからないことといった「壁」にぶつかることもあるでしょう。親御さんが近くにいれば一緒に考えたり、解決したりしてくれる手伝いができますが、いつでも親御さんが一緒にいるとは限りません。そんな時に周囲の人に助けを求めたり、意地を張らずに素直に助けを受けることのできる心構えが重要になっていきます。

しかし、助けを求められない子どももいます。子どもの中で「助けを求める」=「恥ずかしいこと」という思いがあるかもしれません。「自分で何とかしないといけない」「お願いすることは恥ずかしいことだ」という気持ちが強まり、助けを求められなくなることがあります。また、日頃から自分で助けを求めなくても周囲の大人が助けてくれる環境にいると、「誰かが助けてくれる」「困ったら大人が何

とかしてくれる」という誤った認識を持ち続けることとなります。結果として、助けを求めることができなくなってしまう。

心理学用語に「モデリング」というものがあります。モデリングは学習方法の1つで、他者の行動を観察し模倣することで学びを深めていくことです。受援力についてもモデリングを活用することができます。具体的には、保護者が周りの誰かに助けを求める姿を日常生活の中で子どもに見せることです。また、子どもからの「助けてサイン」を待つことも重要です。例えば、宿題で行き詰っている時「わからないんだろうな」「助けてほしいんだろうな」とわかって、あえて子どもからのサインが出るまで待ちます。そして、助けを求めることができたならそのことを褒めてください。

人間は社会的な生き物であり、他の人の助けなしには生きていけません。大人からすれば当たり前のことかもしれませんが、それまで助けられることが当たり前だった子どもからすれば「自分から助けを求めないといけない」ことは難しいかもしれません。しかし成長するにつれて受援力を求められる場面はどんどん増えていきます。子どものためを思うなら、今のうちから「助けてあげたい」思いをぐっところえ、本人から助けを求める言動が出てくるのを待ち、少しずつ受援力を高めるとよいと思います。

今後の予定

- | | |
|----|---|
| 2月 | 20日(金)1日一年生
24日(火)フッ化物洗口
25日(水)おはなしの森(135年)
26日(木)1~5年学年末参観 |
| 3月 | 3日(火)フッ化物洗口
6日(金)委員会活動
10日(火)フッ化物洗口
14日(土)大平山幼稚園卒園式・閉園式
17日(火)卒業証書授与式
19日(木)令和7年度 修了式
30日(月)離任式(10時~) |

令和8年度 行事予定

- | | |
|----|---|
| 4月 | 8日(水)令和8年度 始業式
13日(月)入学式(新6年参加)
16日(木)大分県学力定着調査(新5年生)
23日(木)全国学習状況調査(新6年生) |
|----|---|